

通報対応にリンクスチャット

西部ガスは、法人向け工場・商業施設・ホテルなどにさまざまな未利用熱が存在することを提
供する「LINKS Chat」を紹介した。20
0平方メートル以上の設置面積があれば初期費用0円で、燃費器の開発で培った
アコニア技術を生かし、未
利用熱を有効活用するシ
ステムを設計して省エネ
化していく熱ソリューション事業を紹
介した。

ノーリツは、未利用熱の有効活用による省エネ
率向上を実現する「LINKS Chat」の実演を行った。
三浦工業は、「まごと
メンテナンスサービス」
を紹介。工場のIoTモ
ノのインターネット化
を進め、工場内の同社製
品のデータを取得し、
それをもとに、設備運用
の健康度を把握できる。
また、複数拠点のエネ
ルギー使用量や二酸化炭
素排出量を低減できるよ
うなコージェネレーション

映像で現場の状況を確認

西部ガス供給本部中央指令部は、スマートフォンの標準ブラウザから簡単にビデオ通話ができる日本テレネットのサービス「LINKS Chat」を緊急保安の対応で活用している。ガス漏れなどの通報時に、現場の状況をリアルタイムの映像で見られるようにしたことによって、今まで以上に安全を確保できるようになったと、導入を推進した中央指令部保安指令グループの担当者に導入の経緯や効果などを聞いた。

宮原秀行マネジャーは、「LIVE0919」によって現場の状況が分かるのは、導入検討の際最も重視したのはこの手軽さだ。簡単な映像を送れるのが大きな特長だ。

下村佑介主任は、「LINKS Chat」を基に命名したのは、お客様が抵抗を持たずに簡単に操作できるもの。日本テレネットのリンクスチャットを知り、安価に導入できる。スマートフォンで中央指令部に送る。スマートフォンは、リンクスチャットを「LINKS Chat」で中央指令部に送る。スマートフォンで、スピーカーモードにて通報者に伝える。同社のガス漏れ専用ホットラインの下4ケタをタップするだけで、スマートフォンで撮影している映像をインターネットで中

部ガス供給本部中央指令部へ送る。通報者はU-Riskをリアルタイムで見られるようになってしまった。同様のシステムを採用することができる。ソフトやアプリケーションのインストールは不要で、誰でも



ニチアスはサーモフィットなどをPR

三浦工業は「まごとメンテナンスサービス」を紹介。工場のIoTモードで高性能保温材を活用する

川重冷熱工業はENE水蒸気の熱交換器を回収して給水を予熱する独自技術で省エネを実現した

X2026に出展し、「ボイラーで省エネ・空調システムで低炭素化・水素燃焼技術で脱炭素に貢献する」とを、事例を交えて説明した。

川重冷熱工業はENE水蒸気の熱交換器を回収して給水を予熱する独自技術で省エネを実現した

川重冷熱工業はENE水蒸気の熱交換器を回収して給水を予熱する独自技術で省エネを実現した